

宇屋謙一 けいぞう 美學・美術史學者、文學博士。明治二十一年八月、二十九日岐阜縣生れ、昭和四十七年四月、二十一日歿（二八九一―一九七二）。筆名謙。大正十一年慶應義塾大學哲學科卒。同大教授。

著譯書 「川合教授還暦記念論文集」 （合著・川合貞一教授還暦祝賀會編、昭和六年十一月二十日川合教授還暦祝賀會）、「パッサルゲ著『現代美術史理論』」（譯、昭和九年五月、二十五日春秋社「春秋文庫」、改題再刊「現代における美術史の哲学」）、二十九年五月、二十日「春秋ブツク大」、ヴェルフリン著「美術史の基礎概念（近世美術における様式發展の問題）」（譯、昭和十一年六月、二十五日岩波書店）、「隨筆茶」 （合著、昭和二十二年七月十日春秋社）等。